

(1) 令和8年度 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

職業に必要な実践的かつ専門的な能力が習得できる業界及び学生の就職先として関連深い企業の関係者の皆様に本校を理解していただき、さらに連携・協力の推進に資する為に、本校の教育活動・学校運営の状況・情報を提供し、情報の透明化を図っていく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	<学校理念> 学校の理念は創設以来「佛手仏心」を掲げている。これは外科医の「鬼手仏心」をなぞらえ、仏のような手と仏のような心で患者に接する倫理感を説いている。 <経営理念> 伝統に根ざした革新的な、かつ心技体のバランスの取れた柔道整復のプロフェッショナル育成を目指し、本校卒業の柔道整復師が生涯にわたってしっかり地域での信頼を得て包括基盤を確立し、社会貢献出来るような基盤を築く。 校長名：山本啓司 所在地：〒451-0053 名古屋市西区枇杷島二丁目3番13号 連絡先：TEL:052-562-1210 FAX:052-563-6495 <学校の沿革> 昭和35年 中部柔整専門学校開校 昭和53年 校名を中部柔整専門学院に変更 昭和55年 卒業生1,000名に達する 平成元年 卒業生2,000名に達する 医療法人米田病院立に設置者変更 平成02年 専修学校設置認可 校名を米田柔整専門学校に改称 平成09年 学校法人米田学園設立認可 設置者を学校法人米田学園に変更 卒業生3,000名に達する 平成18年 卒業生4,000名に達する 平成28年 卒業生5,000名に達する 新校舎完成 米田接骨院を新校舎1階に移転 米田道場改修 令和4年 校長に山本啓司が就任 令和5年 副校長に片桐幸秀が就任 令和6年 第1部午前クラス30名、第1部全日クラス50名(2クラス)に変更
(2)各学科等の教育	<受け入れ方針> 学校教育法により大学に入学できる者 入学者数：柔道整復科第1部：80名 収容定員：柔道整復科第1部：240名 在学学生：柔道整復科第1部：205名 時間割【別紙資料－1】 授業内容【別紙様式4(3)参照】 <成績評価基準> 成績の評価 授業の年間定期考査総合平均点が100点満点換算で、60点以上を合格とする。 臨床実習の成績については、前項の規定にかかわらず、学年末において合格・不合格の評語をもって評価する。合格・不合格の判定は、教務会で行うものとする。 1)進級認定 教務会の議を経て校長が認可する。但し、次の各項に該当する者は、進級できない。 (1)1年間で出席しなければならない日数の3分の2以上を出席していない者 (2)学則に掲げる各授業科目の出席時間数が授業時間数の3分の2に満たない者 (3)当該学年で修得すべきすべての単位を修得していない者 (4)期日までに所定の学費を納入しない者 (5)その他校長が裁定した者

	2)卒業認定 教務会の議を経て校長が認可する。但し、次の各項に該当する者は卒業できない。 (1)1年間で出席しなければならない日数の3分の2以上を出席していない者 (2)各授業の年間延欠課日数が全 授業 日数の30%を超えた者 (3)卒業までにすべての単位を修得していない者 (4)公益財団法人 柔道整復研修試験財団 が実施している認定実技審査に合格していない者 (5)期日までに所定の学費を納入しない者)期日までに所定の学費を納入しない者 (6)その他校長が裁定した者)その他校長が裁定した者 資格：柔道整復師国家試験受験資格 <資格取得実績> 令和7年度 柔道整復科 第1部56名 卒業生 令和7年度 柔道整復科 第1部61名 卒業後の進路 接骨院、病医院、介護福祉施設等
(3)教職員	<教職員組織> 専任教員10名、事務職員7名 <教員の専門> 山本 啓司(校長):基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技 島 大輔(校長補佐):基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技 生駒 慎二(教務主査):基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技 吉田 剛章:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技、柔道 吉川 かなえ:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技、柔道 石田 桃子:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技、柔道 堀田 篤:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技、柔道 飯田 直久:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技 松原 太郎:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技 奥村 裕明:基礎柔道整復学、臨床柔道整復学、柔道整復実技
(4)キャリア教育・実践的職業教育	<実習の取組み> 1学年 米田接骨院実習 2学年 よねだ整形リハビリクリニック実習 学外接骨院での実習 介護施設での実習 3学年 医療機関で実習 <就職支援> 各企業を招待し、合同就職説明会を開催。 就職担当者と学年担任を中心に随時相談しながら就職までを支援している。 求人情報はファイルに整理し9時～17時00分まで随時閲覧が可能。

(5)様々な教育活動・教育環境	<主な学校行事> 04月 入学式 06月 就職説明会 08月 夏季休業 07月 前期定期考査 09月 校内柔道大会 10月 運動会 就職説明会 コミュニケーションセミナー 11月 認定実技(3年生) 12月 日本柔道整復接骨医学会 後期定期考査(3年生のみ) 冬季休業 01月 後期定期考査(1,2年生のみ) 02月 スキルアップセミナー 03月 国家試験(3年生) 卒業式・修了式 コミュニケーションセミナー 課外活動 クラブ活動:柔道部、学生トレーナーサークル 少年柔道教室 スポーツトレーナー育成プログラム 特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI)養成校の認定を得て、希望する学生には、在学中に本資格の取得を可能とした。また、一般社団法人日本スポーツ医学検定機構の行う医学検定のパートナー校になり、学生が同検定の1 級を目指す環境を整備している。
------------------------	---

(6) 学生の生活支援	欠席過多、成績不良者に対する支援：長期欠席者等に関しては、電話や文書により連絡をとり早い段階で面談を行い、本人の希望に沿うように努力する。保護者との連絡も密に取ることによって学校、学生、家庭の3方のコミュニケーションを重要視している。 心のケア：学校外の専門家を窓口として、学生の心のケアを目的とした相談窓口を開設し、対応している。
(7) 学生納付金・修学支援	<学生納付金の取り扱い> 入学金300,000円 授業料880,000円 実習費240,000円 施設費200,000円 その他、教材費として60,000円、外部実習費として60,000円を徴収する。 入学金は入学時のみ徴収する 授業料・実習費・施設費は前期・後期の2期に分けて徴収 納期：入学金 合格通知到着後約1週間以内 1年次前期納入日：03月末日 2年次以降前期納入日：04月初旬 後期納入日：09月末日 <経済的支援措置の内容> ・特待性精度 成績特待生（受験生）：一般入学試験（入試第2回）の合格者より成績優秀者10名以内に対して成績特待生として初年度の前期授業料のうち200,000円免除。 成績特待生（在校生）：年間成績優秀者3名以内に対して成績特待生として次年度の後期授業料のうち最高200,000円免除。 ・支援制度 社会人支援：既卒者には初年度の前期授業料のうち120,000円を免除。 引越し支援：新卒者の方で入学後に保護者と別住所に住む際に初年度の後期授業料のうち120,000円を免除。 ひとり親家庭支援：新卒者でひとり親家庭の方は初年度の後期授業料の内、120,000円を免除。 扶養者支援：入学の前年に配偶者控除もしくは扶養控除を受けられた方は初年度の授業料の内120,000円を免除。 柔道支援：柔道経験者で適用になれば新卒者には初年度の前期授業料のうち240,000円を、既卒者には、初年度の後期授業料のうち240,000円を免除。 各制度は併願可能。ただし、併用の場合は上限を各期360,000円とする。 ・高等教育の修学支援制度 ・奨学金を仲介 日本学生支援機構 日本政策金融公庫[国の教育ローン]
(8) 学校の財務	【別紙資料－2】
(9) 学校評価	自己評価 【別紙資料－3】 学校関係者評価 【別紙資料－4】
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	
※(10)及び(11)については任意記載。 (3) 情報提供方法 ホームページにて公開	